

## 学童軟式野球の全国大会 第6回くら寿司・トーナメント2025 「常磐軟式野球スポーツ少年団」が東北勢初の日本一に！

回転寿司チェーン「くら寿司」を運営するくら寿司株式会社(代表取締役社長:田中邦彦、所在地:大阪府堺市)が協賛する「第6回くら寿司・トーナメント2025 第19回学童軟式野球全国大会 ポップアスリートカップ星野仙一旗争奪」のファイナルトーナメントが12月6日(土)、7日(日)に明治神宮野球場で開催され、福島県の「常磐軟式野球スポーツ少年団」が東北勢初の日本一に輝きました。



提供:株式会社ピーアンドピー浜松

本大会は、無料で参加できる大会としては国内最大級の規模を誇る学童軟式野球の全国大会で、当社は野球を頑張る子どもたちを応援しようと、2020年より協賛しています。今年は過去最多となる1,751チームが出場し、全国10地区から勝ち上がった計13チームと前回大会の優勝チームがファイナルトーナメントへ駒を進めました。

決勝戦では、いずれも初めての決勝進出となる「常磐軟式野球スポーツ少年団(東北第一代表・福島県)」と「名古屋ドジャース(東海代表・愛知県)」が対戦。手に汗握る接戦の結果、4対3で常磐軟式野球スポーツ少年団が東北勢初となる優勝を果たしました。

表彰式では、優勝した常磐軟式野球スポーツ少年団の選手たちに、本大会の会長を務める日本プロ野球名球会のアレックス・ラミレスさんより、表彰状や優勝旗などが授与されたほか、当社取締役広報・IR本部長の岡本浩之より、優勝カップと副賞としてくら寿司のお食事券を贈呈しました。

また、12月6日(土)、試合に先立ち行われた始球式には、本大会のシニアディレクターを務める、元プロ野球選手の久慈照嘉さんと佐野慈紀さんが登場。佐野さんは昨年、糖尿病の影響による感染症の悪化で、利き手である右腕の切断を余儀なくされましたが、利き手とは逆の左投げで、代名詞である「ピッカリ投法」を披露し、「日頃の成果を十分に発揮して、仲間を信じて頑張ってください」と選手たちを激励しました。

当社は、ネーミングライツを取得した「くら寿司スタジアム堺」の利活用による地域活性化のほか、学童野球大会への協賛など、スポーツに励む人々を応援する活動を進めております。健康の源である「食」を扱う企業として、今後も一人一人の健康のために、スポーツの発展や活性化に向けて取り組んでまいります。

### 【本リリースに関するメディアの皆様からのお問い合わせ先】

くら寿司株式会社 広報・IR本部 広報部 TEL:072-493-6153 FAX:072-493-6154

最新のくら寿司基本素材はこちらをご参照ください <https://dentsuprc.jp/kurasozai> パスワード:kura

## 【大会概要】

- 大会名: 第6回くら寿司・トーナメント2025 第19回学童軟式野球全国大会 ポップアスリートカップ星野仙一旗争奪
- 主催: NPO 法人 全国学童野球振興協会
- 運営: ポップアスリートカップ実行委員会
- 大会会長: アレックス・ラミレス 氏(日本プロ野球名球会)
- 大会特別協賛: くら寿司株式会社
- 参加料: 無料
- 大会期間: 2025年5月17日～2025年12月7日  
 5～10月 都道府県予選  
 9～11月 クライマックスシリーズ(全国10地区の代表決定戦)  
 12月6日、7日 ファイナルトーナメント(明治神宮野球場)
- 表彰  
 優勝: 常磐軟式野球スポーツ少年団(東北第一代表・福島県)  
 準優勝: 名古屋ドジャース(東海代表・愛知県)  
 第3位: 長曽根ストロングス(関西第一代表・大阪府)、越前ニューヒーローズ(北信越代表・福井県)

## 【始球式の様子】



提供: 株式会社ピーアンドピー浜松

## 【決勝戦の様子】



提供: 株式会社ピーアンドピー浜松

【ファイナルトーナメント結果】

